

2021年2月15日

## ニュースリリース

各 位

会社名 株式会社神明ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 藤尾 益雄  
問合せ先 新規事業創造本部長  
東 光法  
(電話 078-371-2207)

### 株式会社ショクブンの第三者割当増資の引受に関するお知らせ

当社は、関連会社である株式会社ショクブン（以下、「ショクブン」といいます。）が実施する第三者割当増資を引受けることといたしましたので、お知らせいたします。



#### 記

#### 1. 増資引受の理由

ショクブンは、株式会社ヨシケイのフランチャイズ加盟店として昭和52年に設立され、愛知県を中心に中部地区、関西地区の一般家庭のお客様への夕食材料等の宅配による小売を主要業務としております。平成15年に株式会社ヨシケイとのフランチャイズ契約を解消し独立してからは、「新しい食文化をプロデュースし、健康とおいしさをお届けします」という経営理念のもと、独自の「ショクブン」ブランドで管理栄養士による健康管理も意識をした商品開発を行っております。経済的且つ美味しい『エコクック』、和食中心の『和ごころ』、バラエティ豊かに栄養バランスを考えた『バランス』、15分での調理を実現する『カルシヨク』などのメニューを開発し、年間で約1,500種類もの豊富なメニューを提供しております。

当社グループは、「私たちはお米を通じて、素晴らしい日本の水田、文化を守り、おいしさと幸せを創造して人々の明るい食生活に貢献します。」の企業理念のもと、米穀卸売業を中心に、無菌包装米飯・炊飯米等の加工食品の製造販売、外食事業の展開など、お米の消費拡大に向けて国内外で事業領域を伸長させております。また近時ではお米だけにとどまらず青果物、水産品などあらゆる食の分野に事業を展開しており、グループ会社を通じて多種多様な食材・商品を取り扱うことで、「川上から川下までのアグリフードバリューチェーン」構築に向け積極的に展開しております。

今日、女性の社会進出や共働き世帯の増加により、買い物や献立の立案、調理に対する利便性・簡便性のニーズが高まっております。また近い将来超高齢化社会に突入することから買い物難民の増加が見込まれる他、昨今の新型コロナウイルスの影響により外出自粛が叫ばれる中、肉食志向の強まりや家庭内での食事機会の増加が中長期的に継続すると想定しております。

このような状況下で、健康に配慮した美味しい夕食メニューをお客様のご自宅までお届けするショックブンの事業は社会のインフラとして重要な役割を担い、これからの世の中に欠かせないサービスであると考えております。あらゆる食材を取り扱う当社グループにおいて、各社の食材をミールキットという形にして提供することはもちろん、お客様のニーズに合わせた商品提案を行うことでショックブンの商品力の向上に寄与できると考えております。また同時に、生産者が大切に育てた農産物をダイレクトにお客様にお届けすることも可能となり「ラストワンマイル」事業の更なる向上にも繋がると考えております。以上のことから、ショックブンと当社グループの関係の更なる強化とショックブンの事業拡大を目的に、今回の第三社割当増資を引受けることを決定いたしました。

今後、ショックブンにおけるマーケティング活動強化・基幹システム投資などの分野においても神明グループの知見を持ち寄り他株主様とともにショックブンを多面的に支援してまいります。また食材調達の分野においては神明グループとの協働により、より高品質かつ安心安全な食材調達を実施し更なる顧客満足の向上につなげてまいります。さらに拠点展開におきましても手薄エリア（関西地域など）への新規出店を神明グループとして支援してまいります。

## 2. 今後の計画

### ①神明グループの高品質・安心安全かつ競争力のある食材供給

神明グループは精米拠点およびその他加工食品の製造拠点を全国各地に広げており、取扱品目は、米、青果、水産、デリカ惣菜、乾麺、その他加工食品など多岐にわたります。全国の生産地との強固な関係を基盤とした調達力と、独自のノウハウで良食味・高品質を実現する生産能力を活かし、ショックブンへの高品質な食材提供を今まで以上に強化してまいります。

### 神明グループが取り扱うあらゆる食材



#### 【精米、パックごはん、お寿司】

〈株式会社神明〉

当社独自の技術と経験で編み出したあかふじ米、全国の生産地の銘柄米を取扱い

〈株式会社ウーケ〉

北アルプスの天然水で炊き上げた、酸味料・添加物不使用の高品質なパックご飯を製造

〈元気寿司株式会社〉

ネタだけでなくシャリにとことんこだわり、日本の食文化である良食味なお寿司を提供

## 【青果物】

〈青果物流通事業〉

東果大阪株式会社・大同印岡山大同青果株式会社・株式会社成田市場青果に加え、2020年12月に東京中央青果株式会社との資本業務提携契約を締結。東西に渡る当社グループの青果流通事業により全国の青果物の調達を実現

〈株式会社雪国まいたけ〉

完全工場生産により天候に左右されず、高品質でブランド力のあるきのこ製品を生産

〈名水美人ファクトリー株式会社〉

美しい天然水へのこだわりと長年培った育成ノウハウにより高品質なもやしを栽培



## 【水産品】

〈株式会社ゴダック〉

あくなき「品質」と「美味」へのこだわりで世界最高レベルの魚介類商品を開発。「天使の海老」をはじめ、ブランド力のある商品を展開

〈株式会社神戸まるかん〉

アイデア溢れる商品を開発する神戸工場と、大量生産が可能な中国工場により、ニーズに対応した商品を提供

## ②京阪神をはじめとした手薄エリアへの新規出店



- ショクブン営業所拠点
- 東果大阪（東部市場）
- 神戸まるかん
- 神明デリカ（城陽工場）
- 名水美人（八幡…パッキングセンター）

ショクブンは現在、愛知県を中心とした東海3県（愛知県・岐阜県・三重県）が事業展開の中心エリアとなっていますが、人口総数で見ると東海3県と比較して京阪神と呼ばれる大阪府・京都府・兵庫県の3県の市場規模は約1.5倍の大きさがあります。ショクブンは東海3県の営業所拠点は32拠点ある一方で、市場規模が約1.5倍の京阪神エリアでは6拠点の展開に留まっております。

上記の地図上に神明グループの食材調達可能な拠点（東果大阪、名水美人、神戸まるかん）や食材加工の可能な拠点（神明デリカ）が存在しており連携が可能なエリアであります。上記の4社はじめ提携先まで含めると多くの生産性の効率アップの可能性を秘めています。また京阪神における神明グループの企業認知度は高く消費者への安心感にもつながることが期待されます。

また、神明グループは米・青果の調達において全国の生産地と強固な関係があり、埼玉県に精米工場を2工場有する他、資本業務提携先である東京中央青果株式会社の青果流通事業の中核子会社である

東京シティ青果は東京都中央卸売市場豊洲市場において青果流通事業を行っているなど、関東エリアにおいてもショクブンの協業による相乗効果が十分に見込める体制となっております。中部・京阪神エリアにとどまらず、将来的には首都圏をはじめとした関東エリア、そして全国エリアでのショクブン事業の展開を実現していけるよう、神明グループの総力で多面的に支援してまいります。

### 3. 増資引受の内容

(1) 引受株式数	普通株式 5,835,000 株 (増資後の持株比率：50.1%)
(2) 引受価額	1 株につき 270 円
(3) 引受価額の総額	1,575,450,000 円
(4) 払込期日	令和3年3月31日

(注) 増資後の持株比率は、令和2年9月30日現在の発行済株式総数から自己株式数を控除した株式の数に本第三者割当により増加する株式の数 5,835,000 株を加えた数を分母として算定しております。

### 4. ショクブンの概要

(1) 名称	株式会社ショクブン		
(2) 所在地	名古屋市守山区向台 3-1807		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 鈴木 章人		
(4) 事業内容	家庭用総合食材の宅配、業務用食料品販売		
(5) 資本金の額	1,148 百万円		
(6) 設立年月日	昭和 52 年 12 月 6 日		
(7) 最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
連結純資産	840 百万円	407 百万円	497 百万円
連結総資産	7,028 百万円	6,107 百万円	4,865 百万円
1株当たり連結純資産	87.5 円	42.43 円	51.84 円
連結売上高	7,970 百万円	7,104 百万円	6,655 百万円
連結営業利益	△44 百万円	△58 百万円	167 百万円
連結経常利益	△109 百万円	△88 百万円	166 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	△806 百万円	△382 百万円	90 百万円
1株当たり連結当期純利益	△83.97 円	△39.83 円	9.39 円

以 上